

スピリチュアルペインに寄り添うソーシャルワーク支援 ーソーシャルワーカー養成教育において大切にされるべきことを考えるー

1. 開催の趣旨

ソーシャルワーカー倫理綱領の改定が進められています。改正倫理綱領（原案）では、6つ目の原理において、「ソーシャルワーカーは、すべての人々を生物的、心理的、社会的、文化的、スピリチュアルな側面からなる全人的な存在として認識する」と明記され、従来のバイオ・サイコ・ソーシャルの視点に加えスピリチュアルな視点が示されました。

柏木哲夫は、スピリチュアルペインの特徴を「人生の意味への問い」「苦しみの意味」「死生観に対する悩み」など7つの特徴として説明しています。終末期医療においては、患者・家族が死に向き合う中でスピリチュアルペインを経験することが多くなりますが、そのような場面だけではなく、だれであっても人生を揺るがすような生活課題に直面した時に、「何故わたしが？」という問い、「生きることを意味を見失う」といったスピリチュアルペインを経験することが少なくありません。

スピリチュアルペインにソーシャルワーカーはどのような支援ができるのか。クライアントの問いはクライアント自身が向き合うことになりますが、クライアントの痛み思いを寄せ、共に向き合おうとする姿勢が根底に必要です。

本研修は、スピリチュアルペインに寄り添うソーシャルワークをテーマとして、ソーシャルワーカーとして求められる姿勢・支援を理解すること、加えて養成教育に関わる研鑽の機会とすることを狙いとし、「人間の尊厳」を価値とした生きることの本質を支えるソーシャルワーク支援について考えます。養成校教員、実習指導者、現任のソーシャルワーカー、ソーシャルワークを学ぶ学生など皆さまの参加をお待ちしています。

2. 開催日時・会場

(1)開催日時 : 2020年2月29日(土) 10:00~16:00 (受付9:30~)

(2)会場 : 藤女子大学北16条キャンパス 755・756教室 (玄関右エレベータ7階)
札幌市北区北16条西2丁目

アクセス : 南北線「北18条駅」下車 (徒歩5分) / 東豊線「北13条東駅」下車 (徒歩10分)

(3)定員 : 50名

3. 参加費 : 1,000円 (学生は無料)

4. 参加申し込み

別紙の申込用紙にてファックス又はメールにてお申し込みください。(2月25日まで)

5. プログラム

10:00 開催の挨拶

日本ソーシャルワーク教育学校連盟 北海道ブロック 会長
北星学園大学 伊藤 新一郎

10:05 講演「スピリチュアルペインに寄り添うソーシャルワーク支援」

明治学院大学 教授 深谷 美枝 氏

12:00 休憩

13:00 シンポジウム

「スピリチュアルペインに寄り添う支援からソーシャルワーカーに求められること」

司会 藤女子大学 丸山 正三

コメンテーター 深谷 美枝 氏

報告1 高齢者領域から

社会福祉法人芦別慈恵園

くらし事業部長 和田 直樹 氏

報告2 障がい児・者領域から

医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろ

ソーシャルワーカー 目黒 祐美子 氏

報告3 医療領域から

ホームケアクリニック札幌

医療相談室係長 下倉 賢士 氏

14:45 休憩

15:00 全体討論

16:00 終了

〔講師紹介〕

深谷 美枝 氏 明治学院大学社会学部教授・横浜聖霊キリスト教会牧師

社会福祉実習サブノート（共著 2000 年）、実習生のための対人援助技術（共著 2001 年）、社会福祉援助技術現場実習（共著 2002 年）、ソーシャルワーク実習（編著 2009 年）など実習教育に関わる研究に加え、福祉・介護におけるスピリチュアルケア（共著 2008 年）、病院チャプレンによるスピリチュアルケア（共著 2011 年）など、スピリチュアルケアに関わる研究に取り組んでいる。